

## 地元のそば粉を使用した「そば饅頭（古田の里）」作り及び販売

### 取組に至る背景・事業の目的

- 地元の女性に働く場を提供し、仲間作りをしながら地域の活性化を図る。
- 地元産のそば粉を使用したそば饅頭を作り、「赤そばの里」で行われている直売所で、訪れた観光客に販売し、箕輪町の特産品としてブランド化していく。
- 地区や町のイベントで販売する。
- 地元産のそば粉の需要を高め、遊休農地の解消につなげる。

### 事業内容

- 古田おばちゃん会の会員（20名）で地元産のそば粉を使用したそば饅頭「古田の里」作りと販売
  - ・ 「赤そばの里」の直売所での販売
  - ・ J Aまつりでの販売
  - ・ イルミネーションフェスタでの販売
  - ・ もみじ湖祭りでの販売
  - ・ 地区で行われる各種の集まりへの販売
  - ・ その他のイベント等での販売



【そば饅頭販売の様子】

### 事業効果

- 平成22年度の販売目標7,000個を大きく上回る数の饅頭を作り販売することができた。（約12,250個）
- 販売個数が増え、売上を伸ばすことができた。
- 会員同士や会員以外の町民との親睦が図られた。
- 町内で行われたイベント（J A祭り等）から声がかかり参加できた。
- 講習を受けたことで、より品質の良い饅頭を作り販売していかなくてはならないという会員の意識向上につながった。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 饅頭作りの効率を上げ、短時間で品質の良い饅頭作りをする。
- 販売場所を増やし販売個数を増やす。
- 新しい製品を考えていく。
- 区民の皆さんに呼びかけ会員を増やしていく。
- 平成23年度は販売個数15,000個を目標にし、働きがいのある場としていく。

### 【選定のポイント】

「赤そばの里」のそば饅頭として地元産そば粉を使った饅頭が売り上げを大きく伸ばすなど好評を博しており、地域の活性化や女性の活動機会の増大などにつながる事業となった。景観を生かした製造・販売方法等についても、やまびこフォーラムで多くの助言を得られるなど今後の発展性が期待される。

団体名	古田おばちゃん会（箕輪町）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	唐沢 文江	事業費	2,405,217円
	電話 0265-79-5808	支援金額	1,750,000円